

## 第1003回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年6月4日(水)午後3時00分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 清川委員 小泉委員 西野委員 林教育長  
国久企画幹 三田村企画幹(学校教育) 松田企画幹(高校改革)  
上野企画幹(義務教育) 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長  
山元生涯学習・文化財課長 小和田教育研究所長

### 4 議 題

日程第1 第12号議案 福井県立学校職員定数条例および  
市町立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について

日程第2 第13号議案 平成26年度福井県立高等学校後期編入学者選抜実施要項  
(定時制の課程および通信制の課程)の制定について

### 5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 吉井委員 清川委員

(3) 議事要録

委員長 本日の日程第1、第12号議案および協議事項の1について非公開と  
したい旨発議

—————当該議案を非公開と決定—————

委員長 日程第1、第12号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

清川委員 企業等に勤務する男性が海外赴任する際に、教員である配偶者が同行す  
る場合も適用されるのか。

高校教育課長 そうである。

委員長 第12号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第2、第13号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

委員長 第13号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 国への要望事項について

清川委員 ユネスコの世界遺産登録に向け、構成遺産に越前和紙が入っていない理由は何か。

生涯学習・文化財課長 国重要無形文化財に団体として指定されている石州半紙（石州半紙技術者会）等がユネスコの推薦書に記載されている構成団体となっている。越前和紙については、岩野市兵衛氏の越前奉書が重要無形文化財になっているとともに、今春、製作用具等も重要有形民俗文化財に指定されたこともあり、今回、越前和紙もユネスコの無形文化遺産登録の構成遺産として加えていただきたいという要望である。

清川委員 組合ではだめなのか。

生涯学習・文化財課長 技術を伝承している団体としての認定を受けることになるが、本県の場合は、団体指定を受けていない。

吉井委員 越前和紙の世界遺産登録や福井国体等、福井県独自の要望項目については分かるが、全国共通の項目については、全国知事会等で地方が団結して要望するものではないのか。

教育振興課長 制度的な要望等について必要なものについては、全国知事会等の機関を通じて要望することになるが、県として単独で要望する機会もあるため、このように進めさせていただきたい。

清川委員 女性が県外へ流出し、福井へ帰ってこないというのは、若いうちだけか。

林教育長 福井に戻ってこない人数は、どんどん増えている。特に女性の場合、顕著である。IT化により事務系の採用が減少しており、働く場が少なくなっているという状況もある。

西野委員 理系に進む女性が増えており、働く場としても都市部に集中することになる。

小泉委員 小学1年生で授業が成り立たないようなケースが増えてきているので、国では幼稚園・保育園の最後の年を義務教育化するようなことが提案されているが、県の要望は、それらと連動して検討しているのか。

林教育長 国では、都会的な提案もなされ、福井県としてそぐわないような提案もある。これからも、様々な検討を行ったうえで、全国知事会や全国教育委員会連合会等の全国組織を通じて要望・提案することを考えていきたい。

(2) 平成26年度全国学力・学習状況調査における福井県独自の分析結果について  
(速報)

吉井委員 新聞を教育に取り入れることが言われているが、新聞を読む率がまだまだ低い。新聞を取る家庭が減っているのかもしれない。

林教育長 最近、子ども新聞などが発刊されていて、非常にわかりやすいものもある。しかし、まずは教員自身がよく新聞を読んで情報を集め、授業の中で伝えることにより、子どもたちに興味・関心を持ってほしいと考えている。

委員長 学力調査では、過去問に取り組んでいるのか。

企画幹(義務教育) 本県独自の学力調査(SASA)の時期を早め、平成24年度から12月に小学5年生と中学2年生で実施しており、過去の正答率が低かったような問題を抽出して、問題に慣れるようにしている。また、各小・中学校においては、授業改善事例集等を通じて効果的な授業について検討を進めている。

林教育長 本県では国語、算数(数学)以外の教科も含めて、分析を行い、繰り返し授業改善を図っている。受験対策のように競うものではないので、点数をあおるような形にならないよう注意していかなければならない。

(3) 学力向上センターの実績と今後の取組みについて

西野委員 講座では、理科や語学が中心となっているが、学力調査の結果、古典分野が苦手との結果が出ている。小・中学生に福井の偉人等を絡めた文献を読み解くような講座を設けると、古典に興味を抱くこともあるのではないか。

企画幹(義務教育) 小学3、4年生においては百人一首を学習し、福井の偉人についても、「心のノート」を活用して学習している。また、こども歴史博物館なども含め、今後とも総合的に対応していきたい。

委員長 このような講座は、土曜、日曜日に企画される。土曜、日曜日の図書館では多くの生徒が勉強している。図書館で、退職した教員が生徒の質問に答えるようなことができないか、今後考えていただきたい。

報告事項

(1) 高等学校等就学支援金について

吉井委員 事務の手間もかかるし、生徒間で授業料を払う、払わないという問題が起ると困るので、全国組織でもう一度無償化するよう要望すべきではないか。

林教育長 新しい制度が始まったばかりで、今後、各県で様々な実情が出てくると思われるため、今後、全国組織でも議論していきたい。

(2) 公立学校耐震化の状況について

委員長 本日の会議の終了を宣告